

農業の新しい技術

No. 665(平成25年5月)
分類コード 01-07
熊本県農林水産部

いぐさ新品種「有明7号」(品種名 涼風(すずかぜ))

農業研究センター 農業研究所育種・栽培研究室
担当者：伏水邦彦

研究のねらい

現在、本県栽培面積の56%を占める高品質畳表用品種「ひのみどり」は、八月苗床での枯死株発生や茎が細いため製織時間が長くかかるなどの問題が指摘されている。

また、早刈栽培向け品種「夕風」では、「ひのみどり」並の高品質ではあるものの、本田での枯死株発生や花が多いなどの弱点をもっている。

そこで、枯死株の発生が少なく生産性の高い品種を育成し、「ひのみどり」及び「夕風」の一部に替えて普及を図ることで、畳表の生産性向上による農家収益の増加が期待できる。

研究の成果

<来歴>

「有明7号」は1996年に「ひのみどり」を母とし、「KS001002」(「沖縄太い」自殖種子由来系統)を父として人工交配し、育成した系統である。

<特性>

1. 茎長は、「ひのみどり」「夕風」よりやや長い(表1 以下10まで同様)。
2. 長茎乾重、長茎乾重率ともに「ひのみどり」「夕風」「岡山3号」より優れる。
3. 1m乾茎重は、「ひのみどり」より重く、「夕風」「岡山3号」と同程度である。
4. 茎の太さは、「ひのみどり」より太く、「夕風」と同程度である。
5. 茎の硬さは、「ひのみどり」より硬く、「夕風」ほど硬くない。
6. 茎300本当たりの製織長は、「ひのみどり」より長く、「夕風」と同程度である。
7. 部分変色茎は、「ひのみどり」「夕風」よりやや多いが、「岡山3号」よりかなり少ない。
8. 花の着生程度は、「ひのみどり」と同程度で極めて少ない。
9. 製織した畳表の品位は、「ひのみどり」よりやや劣り、「岡山3号」より優れる。
10. 本田での枯死株発生程度は、「夕風」よりかなり少なく、「ひのみどり」よりやや少ない。
11. 八月苗床での枯死株発生程度は、「ひのみどり」より極めて少ない(図1)。
12. 製織に要する時間は、「ひのみどり」より短い(表2)。

以上のことから、新品種「有明7号」は、八月苗床及び本田での枯死株発生が極めて少ないうえ、「ひのみどり」「夕風」「岡山3号」より長茎収量が多い。

また、茎が中太で十分硬く、「ひのみどり」より単位時間当たり多くの畳表を生産することができるため、生産性の高い畳表用いぐさ品種として有望である。

普及上の留意点

1. 草型が立ち、生育量が少なく見えることから、追肥の時期・量に注意する必要がある。
2. 茎の伸びが早いため、先刈の時期に注意する必要がある。

[具体的データ]

熊本県農林水産部

表1 「有明7号」の特性概要

形質	単位	い業研究所 (早刈栽培)				い業研究所 (普通刈栽培)	
		有明7号	岡山3号 (標準)	ひのみどり (比較)	夕風 (比較)	有明7号	ひのみどり (比較)
茎長	cm	133	131*	130	128*	133	130
長茎乾重(105cm以上)	kg/a	75.4	63.1*	63.4*	64.7	72.5	62.0
長茎乾重率 ^{注2)}	%	60	56	52**	52*	57	50
1m乾茎重 ^{注1)}	g/100本	35.0	34.0	27.7**	35.7	36.1	29.5**
茎の太さ ^{注1)}	mm	1.35	1.36	1.19**	1.33	1.30	1.16**
乾茎の硬さ ^{注1)注3)}	%	65.1	56.9**	50.3**	70.9*	73.0	59.6**
製織長 ^{注4)}	cm/300本	10.2	9.9	8.1**	10.5	11.0	8.8**
部分変色茎率 ^{注1)注5)}	%	6.7	29.8**	3.0	2.1	6.6	4.8
花の着生割合 ^{注1)}	%	0.01	0.29	0.01	0.17	0.01	0.05
品位(畳表) ^{注6)}	観察	3.4	3.0**	3.7	3.6*	3.2	3.5*
本田枯死株率	%	0.04	1.22*	0.34	2.56	0.11	0.53

注) 調査年度 早刈栽培: H19年度~H24年度(一部H23年度)
普通刈栽培: H16年度~H24年度(一部H23年度)【H17年度を除く】

注) 検定は各調査年値を反復とする対応2試料t検定法による片側検定結果である(*:5%有意 **:1%有意)。

注1) 105cm以上の茎での調査値

注2) (105cm以上の乾茎重÷60cm以上の乾茎重)×100

注3) 室温20℃、相対湿度60%で300gの荷重を10秒間かけたときの茎の直径の変化を調査した数値。
(加重後径/加重前径)×100で算出、数値の大きいものが硬い。

注4) 105cm~120cmの茎を材料として製織した畳表での調査値

注5) 調査年度 早刈栽培: H19年度~H24年度【H21年度を除く】 普通刈栽培: H20年度~H24年度

注6) 観察による5段階評価 1:不良 2:やや不良 3:標準 4:やや良 5:良
105cm~120cmの茎を材料として製織した畳表の調査値

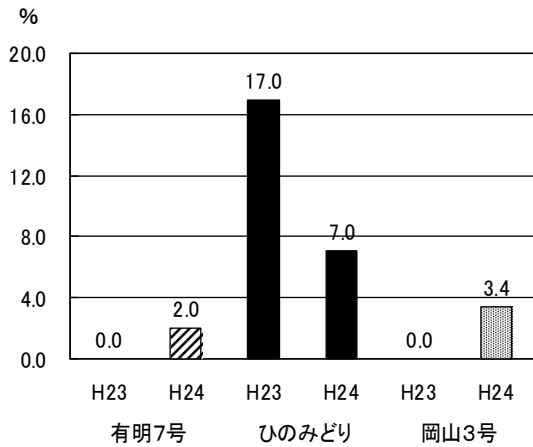


図1 八月苗床での苗枯死株率

表2 製織に要する労働時間

品種・系統名	取扱い時間 ^{注1)}		製織時間	
	分/枚	ひのみどり 対比 %	分/枚	ひのみどり 対比 %
有明7号	17.5	74	41.3	74
ひのみどり	23.6	100	56.2	100
岡山3号	23.3	99	45.2	80

注) い業研究所にて調査(調査日: H24.1.20)

注) 120cm以上茎の原草を使用

注1) 取扱い時間は、着花茎等の不良茎の選別に要する時間



左「有明7号」 中「ひのみどり」 右「夕風」

図2 生育株写真 (H24.6.11撮影)